

# あいち 食品工業技術センターニュース

2015年8月号

今月の内容 ●トピックス

●技術解説「ペットボトル容器の特徴と種類について」

## トピックス

### ●親子科学教室「サイエンスでお菓子を作ろう！」を開催しました。

豊田佐吉は、明治31年8月1日に最初の動力織機の特許を取得しました。愛知県では、この日に因んで8月1日を「愛知発明の日」と定めて、この日を中心に様々なイベントを行い、広く県民の皆さんに研究開発や知的財産の重要性について考えていただく機会としています。

食品工業技術センターでは、8月7日（金）午後1時30分から小学生とその保護者を対象に20名の方に参加いただき、親子科学教室を開催しました。親子科学教室では、重曹の色々な働きについて説明した後に、赤キャベツジュースに重曹



や酢を加えアルカリ性や酸性を調べる実験や赤キャベツジュースに重曹と酢を混ぜ発泡させる実験、重曹を使用したソーダブレッド作り・ラムネ菓子作りを行いました。

### ●あいち産業科学技術総合センター食品工業技術センター技術支援会議を開催しました。

7月16日（木）午後1時30分より、当センターにて「平成27年度 あいち産業科学技術総合センター食品工業技術センター技術支援会議」が開催されました。

この会議は、当センターが行う技術的支援や研究活動などの様々な取り組みについて今後の運営に反映させるため、センターに関わりのある業界や機関等からの提言をいただくために行っているもので、毎年この時期に開催しています。

業界からは、愛知県酒造組合会長 杉本多起哉様、愛知県味噌溜醤油工業協同組合専務理事 富田茂夫様、愛知県菓子工業組合理事長 久村俊昌様、一般社団法人愛知県洋菓子協会副会長 磯貝元伸様、公益社団法人愛知県漬物協会会長 大羽恭史様、愛知県豆腐商工業協同組合理事長 大久保博様、包装食品技術協会会長 杉山仁朗様の各団体代表者のご出席をいただきました。

出席者からは、地域特有の業界ニーズに対応した技術開発、食品の表示問題、HACCPへの対応についての情報収集並びに技術的支援などの要望が出されました。これらについて、技術的なものは、受託研究、依頼試験、技術相談・指導で対応し、情報収集については、県の関連部署への照会等を通じて行うことになりました。

## ●平成27年度 愛知のふるさと食品コンテスト」が開催されました。

8月6日（木）午後2時より、当センターにおいて、「平成27年度 愛知のふるさと食品コンテスト」の審査会が開催されました。

本コンテストは、県産農林水産物を活用した加工食品の新たな需要を掘り起こし、農林水産物の生産振興に資することを目的に開催され、応募のあった61件の食品の中から、株式会社石巻柿工房の「柿あん」が最優秀食品に選定されました。

この製品は、一般財団法人食品産業センターが主催する全国規模のコンクールである「平成27年度 優良ふるさと食品中央コンクール」に愛知県代表として推薦されます。詳細については、愛知県ホームページ <http://www.pref.aichi.jp/0000085579.html> をご覧ください。



## ●平成27年度 外部資金による研究助成事業に採択されました。

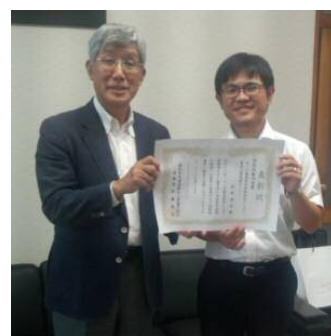
次の2課題が新たに採択されました（8月14日現在）。平成27年度の特別課題研究として取り組んでいきます。

- (1) 自然界から分離した酵母の培養・保持方法に関する研究
- (2) エクストルーダを用いたパン粉様食品製造法の確立

【いずれも、公益財団法人 エリザベス・アーノルド富士財団 研究助成事業】

## ●当センターの間野主任が愛知県味噌溜醤油工業協同組合から表彰されました。

当センター発酵バイオ技術室の間野博信主任が、平成23年度より取り組んできた「乳酸菌制御による豆味噌および溜醤油の高品質化技術の開発」をテーマとした一連の研究による業界への功績が認められ、愛知県味噌溜醤油工業協同組合から特別技術功労賞が授与されました、



佐藤敬治理事長（左）  
と間野博信主任